

# 福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性										
事業名	高齢者運転免許証返納推進事業									
事業担当	所属	建設交通部 都市・交通課					所属長	清水 俊行		
会計情報	事業コード	120179	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	10 交通対策費	会計	01 一般会計 決算付属資料 84 頁
施策体系	施策コード	040303	施策名	交通安全対策を推進する						
計画期間	開始年度	平成26年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	第10次福知山市交通安全計画				
根拠法令等										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )									
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合									
関連事業	交通安全対策事業									

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	近年、全国的に高齢ドライバーの交通事故の割合が増加傾向にあり、高齢ドライバーによる交通事故の抑制を図る必要があることから、自動車の運転に自信がなくなった、または運転する機会が少なくなった高齢者に運転免許証を自主返納しやすい環境を提供し、高齢者の自動車運転機会の縮小を図り、交通事故の減少につなげることを目的とする。								
対象者	高齢者運転免許証返納推進事業申請者数	対象者数	298	単位あたりコスト	9.1				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )								
委託先・実施主体等									
事業概要 (簡条書き)	市内に在住し、運転免許証を自主的に返納した75歳以上の高齢者に対し、敬老乗車券2冊(6,000円分)もしくはタクシー券(5,000円分)のいずれかを贈呈する。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	報償費	281	運転経歴証明書交付手数料返納金						
	報償費	1,315	タクシークーポン券交付金						
	報償費	35	敬老乗車券交付金						
役員費	111	交付通知書等郵送料							

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	1,294	1,377	1,442	1,442				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	1,294	1,377	1,442	1,442					
予算財源内訳	① 一般財源	1,294	1,377	1,442	1,442				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	15	364	0	0				
	② 配当予算	1,309	1,741	0	0				
	③ 執行額	1,309	1,741	0	0				
	④ 執行率	100.0%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員・専任職員)	0.12/0	0.79 / 0.00	0.79 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	960	960	960	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,269	2,701	960						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	高齢者の事故件数の減少	件	74/65	48/65	42 / 65	/ 65	65		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	制度利用者数	人	230/150	241/185	298 / 185	/ 185	185		
	単位あたりコスト		5.53	5.34	5.84				
	運転免許返納申請者数	人	308/200	326/200	422 / 200	/ 200	200		
単位あたりコスト		4.13	4.59	4.13					

## V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	○	近年、本市も含めて全国的にも高齢者の事故が増加しており、必要度の高い事業である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	○	他市では、返納者に対して継続的な支援の実施もみられるが、本市では返納時のみのサービスとしているにも関わらず返納者増につながっていることから効率的な事業と判断できる。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	○	事業開始によって確実に返納者が増えていることから、有効性は高い。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価			事業実施前の運転免許返納者数はH23が10人、H24が16人、H25が54人であったが、H26から事業を開始し、H29が308人、H30が326人、H31が422人となり、事業の効果は顕著である。また、高齢者の交通事故件数も確実に減少しており、評価の高い事業である。
これまでの課題及び今後の方向性			公共交通が充実していない地域では、運転免許を返納しても代替交通移動手段の確保が困難であり、免許返納の進まないことが懸念される。また、周辺地域に居住する高齢者にとって免許は農作業にも必要不可欠であり、この面でも大きな課題が残る。高齢者が安全に運転できるよう安全教育や講習制度の充実、またサポートカー等の新しい技術の周知等に取り組む必要がある。

## VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

## VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	R2年度からは運転免許証返納後に、本人確認書類として利用できるマイナンバーカードを推奨し、運転経歴証明書の発行手数料分1,120円の奨励金制度を廃止した。

## VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	---

# 福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	交通安全対策事業												
事業担当	所属	建設交通部 都市・交通課					所属長	清水 俊行					
会計情報	事業コード	560214	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	10 交通対策費	会計	01 一般会計	決算付属資料	84	頁
施策体系	施策コード	040303	施策名	交通安全対策を推進する									
計画期間	開始年度	昭和41年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	第10次福知山市交通安全計画							
根拠法令等	第10次福知山市交通安全計画												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

## II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	市民の尊い命を交通事故から守るため、交通安全思想の普及・浸透に努め、交通事故防止の徹底と交通の円滑化を図り適切な交通対策を推進する。									
対象者	市民	対象者数	78,000	単位あたりコスト	0.1					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )									
委託先・実施主体等	福知山市交通対策協議会									
事業概要 (簡条書き)	京都府の年間交通安全府民運動実施要綱に基づき、市内32団体で組織する福知山市交通対策協議会として年間の交通安全運動を展開し、交通安全に対する意識の高揚、交通事故の防止、交通マナーの向上を図る。 交通安全対策会議を主宰し、策定した第10次福知山市交通安全計画に基づき、施策を具体的に実施する。 通学路安全推進会議を主宰し、関係機関と連携し、通学路の危険箇所の合同点検と安全対策を実施する。 未就学児が日常的に集団で移動する経路の緊急安全点検推進会議を主宰し、関係機関と連携し、未就学児が日常的に集団で移動する経路の危険箇所の安全対策の検証を実施する。 交通安全要望に対する道路管理者、警察等との調整対応及び自治会等への対応を行う。 シートベルト着用推進を図る。 幼児や高齢者を対象とした、交通指導員による交通安全教室を開催し、交通安全に対する意識の高揚を図る。									
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容							
	賃金	2,253	交通指導員賃金							
	需用費	356	交通安全旗、ランドセルカバー購入費等							
	役務費	181	郵送料、電話代							
	旅費	15	旅費							
	負担金補助及び交付金、扶助費	828	福知山市交通対策協議会負担金、交通遺児激励金							

## III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	4,002	3,787	4,088	4,480	
	② 補正予算	0	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0	
小計(①～③)	4,002	3,787	4,088	4,480		
予算財源内訳	① 一般財源	4,002	3,787	4,088	4,480	
	② 国支出金	0	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	△ 369	△ 5	0	0	
	② 配当予算	3,633	3,782	0	0	
	③ 執行額	3,573	3,633	0	0	
	④ 執行率	98.4%	96.1%			
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.65/0	0.54 / 0	0.54 / 0.00	0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	5,200	4,320	4,320	0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	8,773	7,953	4,320			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標	
		交通事故発生件数	件	203/180	173/180	125 / 180	/ 180	180
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標	
		交通安全街頭啓発活動	回	24/20	22/20	34 / 20	/ 20	20
		単位あたりコスト		63.71	162.41	106.85		
		単位あたりコスト		/	/	/	/	

## V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	○	交通事故防止は市民の命に直接関わる重要な問題であり、市民の安心・安全のために交通安全対策に積極的に取り組む必要がある。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	○	福知山警察署、福知山交通安全協会等の関係機関・団体と連携し、継続的かつ事故発生等に応じて緊急的・重点的に啓発活動に取り組んでおり、効率性は高い。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	○	交通事故発生件数は減少傾向であり、自動車の安全機能の向上や救急医療体制の充実と併せて効果がある事業と思われる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	交通安全を推進していくには、交通対策協議会を中心に警察やボランティア団体との連携による全市的な活動とし、市民の意識改革に努める必要がある。そのため、継続的な取組によって市民の交通安全思想の普及につなげると同時に、市として交通安全に積極的に取り組むという姿勢を示すことによって、交通マナーの向上にもつながっている。交通事故の発生件数は減少傾向にあり一定の成果が上がっていると考える。		
これまでの課題及び今後の方向性	継続的な取組による市民の意識改革に基づいた成果達成のため、引き続き市民協働型の運動を展開していくと同時に、関係機関と連携した取組を推進していく。		

## VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

## VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	交通事故件数は減少傾向であるが、スマホを操作しながらの運転やあおり運転の防止、児童の移動に係る安全確保、横断歩道での一旦停止の徹底等、交通安全に対する課題は、社会の動きに合わせ形を変えて提起される。これからも引き続き関係機関と連携し、継続して取組を推進していく。さらに、令和3年度では、交通安全会議において第10次福知山市交通安全計画（計画期間H28～R2）の次期計画となる第11次計画を策定する。

## VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合    (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合    (統合先事業名: )
--------	---